

【介護老人保健施設の理念と役割】

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供すると共に、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

2階 介護 小野 万里子

10月に入り朝晩はだいぶ涼しくなりましたが、日中はまだまだ暑い日も見られています。ご家族の皆様は気温の変化に体調を崩されてはおりませんか。

さて今年度は9月25日に敬老会を行いました。年祝いの方を発表し記念品の授与を行い、利用者代表の方に一言挨拶をしていただきました。その後、歌のレクリエーションを行い、参加された方々は歌に合わせて手拍子をしたり、歌詞を口ずさまれながら楽しまれておりました。

来年も明るい笑顔にあふれた楽しい敬老会が開催できるよう、工夫を凝らし利用者皆様の長寿をお祝いしたいと思います。



今年度は3階の利用者1名が百歳を迎え、県より祝状と記念品を頂きました。

おめでとうございます。



【敬老『寿』膳】

3階 介護 伊藤 はるみ

今年も鶴舞会館で行われた本荘地区福祉展示会に利用者の方々が作成したパッチワークや刺し子、カゴなどの力作を出品させていただきました。

今年是由利本荘市長賞を1名、市社会福祉協議会長賞を1名受賞されました。残念ながら受賞を逃した作品も、素晴らしいものばかりでした。

展示会への参加は作品の成果が認められる良い機会となります。今後も作品制作や作業活動を楽しみながら取り組んでいただきたいと思います。



3階 看護 高橋 和希

秋田県の各所では稲刈りも進み、秋の到来を感じるようになりました。夏から続いた暑さも幾分和らぎ、過ごしやすい季節となった一方で、朝晩の気温は下がり激しい寒暖差に体調を崩しやすい季節でもあります。

寒暖差が激しいと自律神経が乱れ、鼻水や鼻づまり、くしゃみ等の症状が現れる事もあります。日々の健康観察を行いながら、利用者の皆様が体調を崩されることのないように室温の調節や環境整備に努めてまいりたいと思います。



相談室 佐々木 智広

気温の低下と共にご家族の皆様には、衣類の入れ替えや補充をお願い致しております。不足の衣類につきましては、お気軽に各階の職員又は、相談員へお尋ね下さい。

また入れ替えた衣類やキャビネットに入りきらない物を一旦お返しすることがございます。お手数をおかけしますが、ご理解とご協力を宜しくお願いします。



【面会について】

面会は全て予約制とさせていただきます。お手数ですが面会をご希望の方は、事前に日時をご連絡いただき面会の可否をご確認下さい。

また面会は全て窓越し、またはタブレットでの面会となります。一度の面会者数は大人数とならないよう2名迄、面会時間は利用者皆様の負担を考慮し、大旨10分程度とさせていただきます。

面会時はマスク着用と手指消毒をしていただき、小学生以下（小学生を含む）や体調不良の方（下痢、風邪症状のある方や37.5℃以上の方）は、面会を御遠慮下さい。なおインフルエンザ、その他感染症の感染者数増加や感染の拡大状況によって面会を全面的に中止させていただくこともございますので、ご了承下さい。

○お問い合わせ先

介護老人保健施設「しょうわ」

0184-23-7100（代）